

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月5日	記入者		連絡先	2772	
平成18年度部名	健康福祉部	課名	地域福祉課	課長名	梅沢 道雄	
平成19年度部名	福祉部	課名	地域福祉課	課長名	甘利 賢治	
事務事業名	あじさい会館維持補修費(本課分)					
予算上の事務事業名	あじさい会館維持補修費					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	11110	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進					
施策名	第1施策 総合的な福祉施策の推進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市立市民福祉会館条例					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
社会福祉の総合的な推進及び社会福祉活動の育成発展を図るため設置されているあじさい会館を維持するために、施設設備等の経年劣化などに対応するため必要な維持補修を行なうものである。				市民一般		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	・トイレ建具修繕					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位:千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	58,002	7,997	9,603	16,600	16,600	
一般財源	58,002	7,997	9,603	16,600	16,600	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	673	335	335	335	335	
事業コスト合計	58,675	8,332	9,938	16,935	16,935	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	あじさい会館維持補修			対象名称 と単位	開館日数(日)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	58,675	8,332	9,938	16,935	16,935	
対 象 数	344	345	350	350	350	
単位あたり経費(円)	170,567	24,151	28,394	48,386	48,386	
前 年 度 比		0.14	1.18	1.70	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	補修件数（件）	指標式と指標の説明		実際補修した件数	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	1.0	1.0	1.0		
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	補修実施率（％）	指標式と指標の説明		補修必要数に対する実施率	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	20.0	17.0	17.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	20.0	17.0	17.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		建物の老朽化により年々補修箇所も増加しているところではあるが、必要予算範囲内において、最小経費で最大の効果を上げることに努めた。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
会館機能の低下を招かぬよう、今後も継続的な維持補修に努める。			社会福祉の総合的な推進及び社会福祉活動の育成発展の拠点となっているあじさい会館は築25年以上を経過し、建物全体の老朽化も激しくなっている。今後も施設利用者の基本的なニーズに応じていくために大規模修繕や継続的な会館の維持補修が必要不可欠なものであると考える。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		引き続き、緊急性の高いものを修繕し、凌いでいくが、より効果的な事業の実施を検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			